

対話型子ども会議

子ども議会ではなく、まちづくりを提案するでもない「対話」する子ども会議のファシリテーターを務めました。テーマは「友達、友情について」。思春期には心や生活の中で大きな位置を占めている友達について語り合うというとても素敵で重要な場にいられたことに感謝しつつ、共有します。

☆会議の概要

夏休みの午後 2 日間 3 時間×2 回を使っての開催でした。参加したのは 3 つの中学校の 2 年生と高校 2 年生、16 人でした。ファシリテーターは 4 人。

1 日目は友達に関する現状を共有しました。友達ってどういう状態？親友ってどんな存在？などなど「友達」を巡るあれこれを話し合いました。

2 日目は、マンガやドラマ、本等から、自分が思う「こんな友達関係っていいな」というのを出し合いました。そこから、理想の友達・友情ってどんなこと？を考え、自分の身の置き換えると「こんなときどうする？」について話し合いました。



☆感想は？

- ・ 学校では話せない内容も話せた。みんな同じ悩みがあることも分かった。
- ・ 友達ってなんだろう？と考えている時期があった。これからの友達との関係も考えることができた。
- ・ 友達だと気がつかって話せないことも気がつかわず、話せてよかった。
- ・ 他校生や高校生と本音で話せてよかった。
- ・ イザ訊かれたらわからないような話ができ。友達についてふりかえった。
今日にことをこれからの学校生活にいかしたい。
- ・ 他の中学校の子と話して、共感できる場所があった。自分の経験してないことも考えることができたので、今後、活用したい。

☆深い対話をする場となりました。1 日目でなかなか本音を出せない子どもたちに、どうしたら本音を言ってもらえるのだろう？何がひっかかっているのだろう？と真剣に向き合った 2 日間でした。